

2015年度事業報告書

2015年4月1日から2016年3月31日まで

特定非営利活動法人 レッドリボンさっぽろ

1 事業の成果

- ①電話相談や交流会を通じて、HIV陽性者・エイズ患者に対する情報提供、支援ができた。
- ②電話相談を通じて、感染不安を抱える人に情報提供することができた。
- ③ABCキルトを通じて海外の子どもを支援することができた。
- ④講演活動、イベントにブース出展等を通じて、エイズの知識の啓発・共生について伝えることができた。
- ⑤会報や勉強会を通じて会員内外の情報交換や研修をすることができた。

2 事業の実施に関する事項

- (1) 特定非営利活動に係る事業
 - ①HIV感染者・エイズ患者などに対する社会的支援サポート事業
 - ②電話相談事業
 - ③キルトの製作及び海外への送付事業
 - ④エイズ予防等に関する普及啓発事業
 - ⑤その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数
①②	エイズ電話相談	毎週火曜	RRS事務所	4人	321人
①②	HIV陽性者電話相談 どんごLine	月2回	RRS事務所	3人	—
①	HIV陽性者面談相談 くれぱー線	月2回	RRS事務所	3人	—
①	HIV陽性者交流会 in HOKKAIDO 企画・運営	4月11日、6月13日、8月22日、10月10日、12月12日、2月13日(全6回)	札幌市内公共施設ほか	3人	65人
③	ABCキルト作成(海外のエイズ遺児支援のために送るキルト)	月3~4回	RRS事務所	10人	—
④	北海道大学大学祭・医療展 SCORA北海道ブース出展 協力	6月6日	北海道大学	1人	300人
④	北海道医療大学「九十九祭」ブース出展・ステージ発表	6月20日~21日	北海道医療大学	6人	300人
④	ダーツバーハウストーナメント会場でのHIV/エイズ予防啓発	9月6日・12月13日	札幌市内	1人	72人
④	札幌市主催「HIV(エイズ)休日即日検査」(6月7日実施)広報	5月29日~6月5日	札幌市内	1人	60人
④	札幌市主催「ゲイ・バイ男性のためのエイズ検査」企画提案・広報・相談員派遣	9月26日	札幌市中央保健センター	1人	52人
④	WAD(世界エイズデー企画)ゲイ・バイ男性向けエイズ検査 協力	11月12日	サークルさっぽろ	2人	16人
④	WAD(世界エイズデー企画・札幌市からの委託事業)の広報ポスター貼りやアソビの設置、テレビ出演・テレビ情報提供	11月中旬~12月上旬	札幌市内	4人	117箇所
④	レッドリボンライブ(音楽LIVE) 協力・当日参加	11月24日	ベニーレーン24	1人	68人
④	世界エイズデーシアター(演劇) 協力・当日参加	11月30日~12月1日	ターミナルプラザことばトラス	2人	183人
④	ゲイ・バイ男性のためのライフ&ヘルスマガジン『How's Life?』の発行	8月25日、3月25日	札幌市内	2人	6000人
④	市民向けHIV/エイズ基礎講座 主催	8月9日	RRS事務所	2人	8人
④	LGBTの理解 職員講習会 講演	10月22日	札幌市内就労移行支援事業所	1人	10人
④	北海道HIV情報交換会 演題発表	2月27日	札幌市内	1人	51人
④	HIV/エイズ看護学会総会・研究発表会 講演	3月5日	北海道大学	1人	20人
④	札幌市エイズ対策推進協議会 出席	2月8日	札幌市内	2人	—
⑤	定期年次総会	4月25日	RRS事務所	13人	—
⑤	はばたき福祉事業団北海道支部主催「HIV検査相談担当者研修会」参加	7月4日	道民活動センタービル かでる2・7	3人	—
⑤	講演スタッフ育成講座 主催実施	8月29日~11月8日	RRS事務所ほか	2人	4人
⑤	電話相談スタッフ育成講座 主催実施	8月22日~12月12日	RRS事務所ほか	2人	3人
⑤	会報の発行	年間3回	RRS事務所	2人	240人
⑤	ホームページ・ブログ・ツイッター・メルマガリストの運営・管理	不定期	RRS事務所	1人	—
⑤	事務局会議	不定期	RRS事務所	5人	—
⑤	運営会議	月1回	RRS事務所	4~7人	—

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	支出額(千円)

(備考)

- 1 用紙の大きさは、日本工業規格A列4番とする。
- 2 2は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 3 2の(1)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数、受益対象者の範囲及び人数並びに支出額をそれぞれ記載する。
- 4 2の(1)のうち「受益対象者の範囲及び人数」の欄には、具体的な受益対象者及び人数を記載する。
- 5 2の(2)については事業毎に定款の事業名、事業内容、実施日時、実施場所、従事者の人数及び支出額をそれぞれ記載する。
- 6 事業内容及び支出額は、収支計算書の事業費の科目及び支出額との整合性を図る。